(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　4年　1月　24日　　企業・団体名： 入交グループ本社株式会社

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（相談窓口の設置、研修の実施）				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント相談窓口を設置し、周知している ・グループウェア上でハラスメント被害の相談様式を構えている ・ハラスメント事案などの社員教育や管理者向けの研修を実施している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み（時間外労働軽減への意識づけ） ・半日単位の有給休暇制度、有給休暇の取得奨励、男性育児休暇の取得推進、テレワーク可能な環境の導入など、育児、介護、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や、受入環境・労働環境の整備を行っている部署と連携しており、現状で外国人労働者はいないが、受入・労働環境の整備は行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・安全運転管理者から業務中の事故防止を呼びかけ、交通安全週間は朝礼で周知するなど社内へ発信している ・作業服・安全靴を社員全員に貸与し、着用が必要な作業の際は、安全を呼びかけている			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・メンタルヘルスに関する相談窓口を設置している ・メンタルヘルスに関する対応（産業医）を設置している ・年2回、社員への組織評価アンケートを実施し、組織の健全化に取り組んでいる			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・入社から5年間の定例研修など研修体制を整備。必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ・次世代リーダー研修や管理者研修など、良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員・パート社員）の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・健康経営優良法人（経済産業省）の認定を受けている ・高知家健康チャレンジを推進している ・年2回、社員への組織評価アンケートを実施し、労働環境の向上に取り組んでいる			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・テレワークや就業場所の分散等、新しい働き方に対応できる就労環境や労務管理体制を整備している ・ウェブ会議を積極的に導入している ・消毒アルコール・検温器の設置、対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・グループウェアを活用し、デジタル化・オンライン化を推進している ・タイムカードから給与計算まで、勤怠管理システムを導入済み ・業務の電子化・クラウドサービス等のDXに関する検討部署を設置している								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・廃材、廃油、空き缶、ペットボトルなど分別し再生資源業者などに引き渡してリサイクルしている ・使用しなくなった機器等はリサイクルセンターに持ち込み、適切に処分している											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・エネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置・自社ビルで消費しているほか、LEDの使用を徹底し、オフィスの節電に取り組んでいる							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・クールビズ・ウォームビズに取り組んでいる ・二酸化炭素排出が低減される機器類の導入やエコ運転の促進、ペーパーレス化を積極的に行い、排出の抑制に取り組んでいる ・Web会議の活用により、交通移動を減らしCO2などの排出を抑制している							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮したサービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている						6.6									15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・再生用紙の利用を推進している ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している ・弁当発注の際は、使い捨て容器ではないものを依頼している												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社および管理物件の水利用状況を把握し、定期的に水質調査を実施し、水質の監視と対策を講じる体制を整備している						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・太陽光パネルや蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを利用（供給）している							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・就業規則（服務規律）および行動規範により社員に周知している																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・就業規則（服務規律）および行動規範により社員に周知している																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・行動規範により社員に周知している								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している ・取扱者を限定するなど運用マニュアルに従い情報漏洩防止を徹底している																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・業務の遂行に当たり、リスクの洗い出しやダブルチェックを実施している ・自社ビルの管理会社として、設備の保守・点検を行っている			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・複数人でアイデアを出し合ったり、ダブルチェックを実施している									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・エコ製品やリサイクル品など環境に配慮した製品の購入に努めている						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話を通じて、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・協同組合高知県木材工業団地連盟の清掃活動に参加している ・日本財団のチャリティ自販機を設置している				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・贈答品について地元特産品を優先的に購入している								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・コンプライアンス基本方針を策定し、グループウェアにて社員に周知している 【予定】ハラスメント防止の啓発研修を定期的に実施																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当者および責任者（担当役員）を任命している ・場合により専門家に依頼している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・関係会社や地域、行政機関など利害関係者と連携した取り組みに努めている																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・就業規則、行動規範にてコンプライアンス違反が処罰の対象となることを周知している																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●																	16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●																	16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震に備えて検討委員会を設置しBCPを策定、定期的な検討会の実施と見直しを行うなどBCMにも取り組んでいる ・災害対策としてサーバー機器をデータセンターに移設 ・全従業員を安否確認システムへ登録し、有事に対応している									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成に取り組んでいる ・円滑な事業承継に向け、事業承継・取引金融機関に相談し、検討を進めている								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・事業継続計画（BCP）を策定し、定期的に訓練を実施。事業所において、食料や資機材を備蓄している ・従業員に避難先を周知。また一人一人の緊急時連絡カードを作成し、有事の際に自宅や通勤路付近で避難できる場所を確認				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・多業種にわたるグループ会社のBCP実効性向上を支援している ・会社の施設にAED（自動体外式除細動器）を設置している	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・SDGs推進委員会を設置、社内でSDGsへの意識浸透、周知に努めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・地元の学生を積極的に雇用している ・高知県移住促進、人材確保センターを通じ、都市部などからのUIターン人材を積極的に採用している				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						